

遊具を充電して遊ぶ子どもたち



### 科学をもっと身近に

7月24・25日 サイエンスワールド 2010

きらめきみなと館で「サイエンスワールド2010」が、2日間にわたって開催されました。館内ではエネルギーと環境について学べる原子力縁日をはじめ、夏休み工作・実験教室広場や、原子力クイズ大会など、さまざまな催しが行われました。また屋外の人力発電遊園地では、エアロバイクで発電した電気を使い、遊具を動かして遊ぶ子どもたちでにぎわっていました。

海を渡り、常宮神社に向かう行列



### 海を越える行列

7月22日 総参祭

年に一度、氣比神宮の御神祭である仲哀天皇が海を渡り、常宮神社に奉られている神功皇后を訪れる伝統行事「総参祭」が行われました。烏帽子に白装束姿の氣比神宮氏子青年会の方々は、氣比神宮での神事後、御神体を乗せた船神輿とともに天満棧橋から出港。御座船に揺られながら、御神体とともに神功皇后の待つ常宮神社に到着し、今年の海上の安全と豊漁を祈願しました。

テープを投げる乗客たち



出港するばしふいっくびいなす号

# 街角スケッチ

あなたが写っていたらご連絡ください。  
写真を差し上げます。  
広報広聴課 ☎22-8112

### みんなの笑顔あふれる船出

7月29日 「人道の港クルーズ」出港式

敦賀港から利尻・礼文島を航海する、「人道の港クルーズ」の出港式が行われました。このクルーズは、敦賀港がたくさんの人で賑わい、活気あふれる港にすることを目的として企画されました。敦賀港鞠山北フェリーターミナルからは、市民63人を含む520人が、豪華客船ばしふいっくびいなす号に乗船。歓迎式典では、恒川郁雄船長のあいさつやジェリーピーンズの子供たちによるダンスが披露されました。出港の際には、見送る人たちに色とりどりのテープを投げ、手を振る乗客たちの姿が見られました。

## TOPICS

### 敦賀港に新規RORO船が就航

韓国・釜山港との間で7月から新たに、トラック・トレーラーを運搬するRORO船が、週2便就航するようになりました。今回運航を始めたのは、株式会社サンスターラインの船舶で、韓国との間を直接結ぶ国際RORO船は、北陸で初めてです。これにより、現在週3便就航しているコンテナ船と合わせて、週5便の韓国航路となりました。

7月27日には、敦賀港川崎・松栄岸壁に第1便が入港し、歓迎式典が行われました。



敦賀港に入港した第1便のRORO船

炎に見立てた的を目掛けて放水する隊員ら



### もしものために力を合わせ

8月1日 敦賀地区自衛消防隊操法大会

第48回敦賀地区自衛消防隊操法大会が、市公設地方卸売場の駐車場で行われました。各地区や事業所などから84チーム、450人が参加。「小型動力ポンプの部」「消火栓の部」「屋内消火栓の部」の3つの種目に分かれて、操作にかかる時間や動作の確実性などを競い合いました。炎天下の中、隊員たちは日ごろの練習の成果を発揮しようと、汗だくになりながら全力で操法に取り組んでいました。

全国大会での健闘を誓う市橋さん



### 全国大会への決意を胸に

7月21日 全国大会出場選手壮行式

スポーツの全国大会へ出場する選手たちの壮行式が、総合運動公園で行われました。今年は、小学生から社会人まで合わせて167人が全国大会への出場を決めています。下野弘喜教育長が「郷土の代表として、全国に敦賀の名を大きく発してほしい」とエールを送ると、選手代表の市橋加奈子さんは「まわりの方々への感謝を忘れずに、精一杯戦ってきます」と改めて決意を述べました。

練習してきたロシア民謡を披露する児童たち



### 敦賀とロシアの架け橋に

7月21日 訪口児童親善使節団結団壮行式

姉妹都市であるロシア・ナホトカ市を訪問する児童親善使節団の結団壮行式が、消防署講堂で行われました。メンバーは、引率者と市内の小学6年生合わせて14人。児童を代表して敦賀北小学校の有馬隼人くんが、「敦賀の代表としてしっかり頑張ってきます」と抱負を述べた後、全員でロシア民謡を歌い、事前研修の成果を披露しました。（使節団一行は7月22日～29日に訪問し、ホームステイや交流会などを行いました）